

～下田のデキゴト～



7/1「静岡県青少年の被害・非行防止強調月間」街頭キャンペーンを実施

市の青少年健全育成会、下田地区保護司会・更生保護女性会の会員が、青少年の非行や被害を未然に防ぐため街頭キャンペーンを実施しました。



7/11 夏の交通安全県民運動早朝一斉街頭指導

夏の交通安全県民運動（7/11～20日）の実施に合わせ、早朝一斉街頭指導を行いました。

小中学校・各行政区等の協力による街頭指導や、伊豆急下田駅前前で広報、啓発品の配布等を行いました。



7/11 ボッチャ教室を開催

文化会館小ホールにてボッチャ教室を開催し、21名の方が参加しました。3人1チームの試合形式では、白熱した中でも参加者同士の交流が見られました。ボッチャは、年齢や性別、障がいの有無に関係なく、いろんな方が参加できるスポーツです。

**7月の
できごと**

2～16日 アフターあじさい祭
11日 自転車安全利用推進キャンペーン
16日 寿大学（7月講座）



7/6 九十浜海岸でビーチクリーン

下田市グローバルCITYプロジェクト ペットボトルアップサイクルプロジェクトのキックオフビーチクリーンを九十浜海岸で行いました。（株）シップス、豊島（株）等、約60名が参加しました。今年で4年目を迎え、美しい海の保全と意識の醸成を図ります。



7/10～11 下田市青少年補導センター下校時見守り活動（県内一斉夏季少年補導）

市内7地区において、各学校の下校時間に合わせて補導員があいさつ運動を行いました。夏季休業に向けて声掛けを行い、非行を未然に防ぐことを目的に実施しています。



7/13 親子で学ぶ海の安全教室

入田浜にて、「親子で学ぶ海の安全教室」を開催しました。8組16名の親子が参加し、ライフセーバーから海水浴場のルール、ライフジャケットの使い方などを学びました。最後にレスキューボードなどの試乗を行い、子どもたちの笑顔が溢れていました。

18日 市内小学校、認定こども園（幼稚園部）終業式
24～27日 第47回国際カジキ釣り大会

地域子育て支援センター通信

9月の予定

1日(月) 親子で楽しいリズム遊び 講師：宮川 幸子
3日(水) めだかルーム 9:00～11:30
6日(土) 開館日
8日(月) 防災講座(起震車体験) 講師：県危機管理職員
12日(金) 遊VIVAビートと遊ぼう講師：遊VIVAネットワーク
17日(水) あひる・うさぎルーム 9:00～11:30
19日(金) 誕生会 10:30～
20日(土) 開館日
22日(月) 発育測定・育児相談 9:00～11:00
保健師・栄養士来所
24日(水) 敷根公園で遊ぼう 9:30～11:00
26日(金) 親子でリズム教室ずむずむ® 講師：渡邊 智恵子
29日(月) 体育館で遊ぼう 9:30～11:00
場所：市民スポーツセンター



ピョンかえるの製作



交通安全教室



誕生会



救急救命講習

問合せ先：地域子育て支援センター ☎0722200

暑い暑い夏が、やってきました！

体温調節が十分に発達していない子どもたちは、熱中症の危険性が大人よりも高まります。こまめな水分補給を心がけましょう。また、子どもたちの大好きな水遊びも始まりました。ちょっとした油断が事故に繋がることもありますので、安全面には十分な配慮が必要です。ご家庭のお風呂場やビニールプールで遊ぶ時にもお子さんから目を離さないように気をつけましょう。そして、たくさん遊んで、いっぱい食べて、しっかりと休息をとりながら、暑い夏を元気に過ごしていきたいですね。

年齢別ルームのお知らせ

9月から3月まで毎月1回（午前）、同年齢（名札の色）で集まって遊ぶ日を設けます。同じ年齢のお子さんを持つ保護者同士で情報交換、親子同士でふれあう場としていただければと思います。年齢ごとの呼び名は表記のとおりです。実施日については変更になることもありますので、確認の上ご参加ください。

めだかルーム	未歳児： オレンジ名札	R7.4.2生～
	0歳児： 桃色名札	R6.4.2生～R7.4.1生
あひるルーム	1歳児： 黄色名札	R5.4.2生～R6.4.1生
うさぎルーム	2歳児以上： 水色名札 ： 緑色名札	R4.4.2生～R5.4.1生 H31.4.2～R4.4.1生

こんにちは、教育長です 「一枚の写真」



教育長室の私のロッカーに一枚の写真が貼ってあります。ホームラン世界記録を持つ王貞治さんの写真です。

もう4年ほど前になります。市内4中学校が統合する前年、稲杵中学校の備品等の頒布会がありました。手に入れたものが今我が家に、という方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

夕方になり、品物を抱えた市民の姿もまばらになったので、当時放送案内役だった私は、終了の放送を入れて何もなくなった校内を見回りました。最後の職員室に入ると、黒板にマグネットで斜めに寂しげに留められたこの写真があったのです。誰も持っていないかなったのですね。横30センチ、縦40センチのかなり古いカラー写真です。

そこには王貞治さんの一本足で立つ姿がありました。黒いヘルメットのひさしの陰には白球を迎え撃つ眼光鋭く、木製バットを握り構える腕は筋骨隆々。体重を乗せる左足は地面から垂直にまっすぐバランスを保ち、右膝は高く上がる。まさにライト

スタンドへの放物線を放つ瞬間です。今の選手のように、サポーターもバッティンググローブもありません。テーピングもリストバンドもプロテクターも、身に付けるものは一切ありません。白いユニフォームなのでホームグラウンド後楽園球場での阪神との伝統の一戦でしょうか。王さんの他には、投球を受けようと大きく構えるキャッチャーミットだけが艶やかに写っています。田淵選手かも…と想像したりしています。

零コンマ何秒での一瞬を鋭く捉えようと、素手で勝負に挑むバランスのとれたアスリートの鍛え抜かれた体。数々の記録やエピソードを残している王さんの野球人生が教材として扱われ、この一枚の写真を使った道徳科の授業が中学生に展開されたのかもしれません。並々ならぬ努力で鍛え抜かれた体にも、しなやかさとバランスを兼ね備え、何にも身に付けぬ素手での真っ向勝負。この写真を見ると、王さんから毎日道徳の授業を受けているようで、自然と背筋が伸びるのです。